

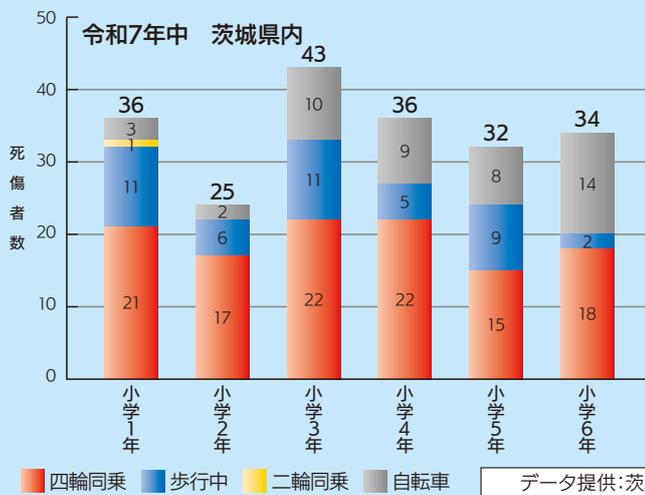
# 小学生の保護者の皆さまへ

**県内では、昨年、206人の小学生が交通事故被害に遭っています**

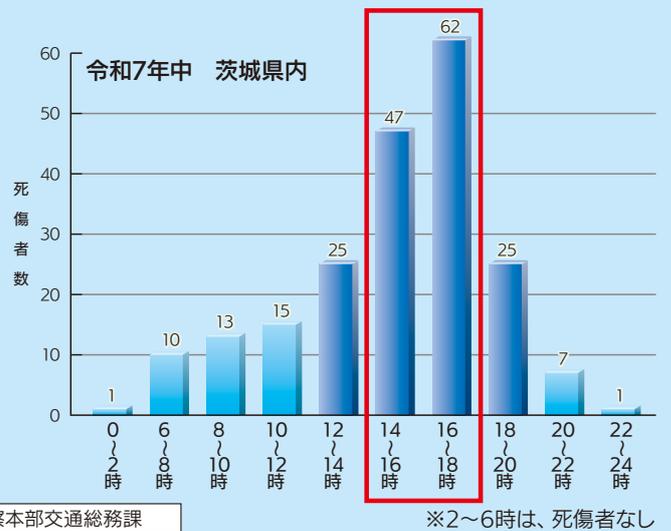
ご入学、ご進級、誠にありがとうございます。

新しい生活に胸を膨らませている子どもたちが、交通事故や犯罪の被害に遭わないようにするためには、お子さま自身が安全を確保し、適切な行動ができる能力を養うことが大切です。この機会にぜひ、お子さまと一緒に交通安全や地域の安全について考えてみませんか。

## 小学生の状態別・学年別死傷者数



## 小学生の時間帯別死傷者数



**親子でチャレンジ**  
交通安全  
間違い探し  
全部で5つあるよ



正解はこちら



**交通ルールはみんなで守りましょう**

# 危険を具体的に示し、繰り返し指導することが効果的です

## 歩行中の交通事故防止

小学生の歩行中の交通死傷事故の大半は、道路の横断中に起きています。

こどもの目線で道路の横断の仕方を指導し、お父さまが安全に道路を横断する習慣を身に付けることが大切です。

### 親子で実践 ワン・ツー・スリー

#### 横断は、「止まる・見る・待つ」が基本

- ①信号機の有無にかかわらず、横断する前は必ず一度**止まる、飛び出さない。**
- ②**道路の右・左をよく見て**、近くに信号機や横断歩道はないか？ 走ってくる車はないか？  
などを確かめる。
- ③走ってくる車があるときは、**車が通り過ぎるまで待つ。**



詳しくはコチラ▲



古河市立古河第二小学校 1年 青木 奈央(当時)

#### 「ハンドサイン運動」の実践について

ハンドサイン運動は、歩行者が、通行する車両の運転者に対し、アイコンタクトと併せて、手を上げる、振る、かざすなど、横断の意思を示すことで、横断歩道を安全に横断し交通事故を防止する運動です。ハンドサインで横断中の事故をゼロにしましょう！

## 自転車乗車中の交通事故防止

正しい自転車の乗り方を指導し、お父さまが安全に乗車する習慣を身に付けることが大切です。

お父さまだけでなく、保護者の皆さんもヘルメットを着用しましょう。

### 親子で実践 ワン・ツー・スリー

#### 正しい自転車の乗り方

- ①両足のつま先が地面につくようにサドルを調節。
- ②ブレーキがしっかり利く自転車に乗車。自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着用。
- ③歩道では歩行者を優先。  
すぐに止まることができるような速度で走行しましょう。



詳しくはコチラ▲

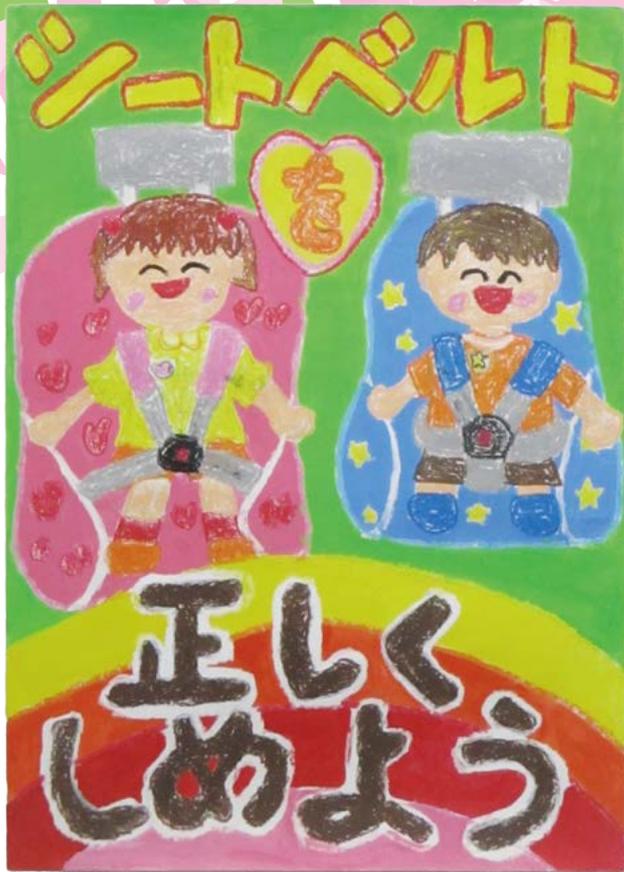


つくば市立島名小学校 4年 松尾 咲楽(当時)

**自転車による加害事故が増えていきます。万が一に備え、お父さまの分も必ず自転車保険に加入しましょう。**

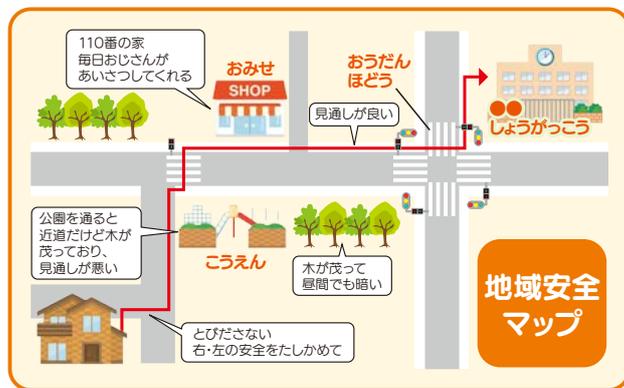
※茨城県交通安全条例改正により、自転車利用者(未成年の場合はその保護者)は自転車損害賠償責任保険等への加入に努めなければなりません。(令和元年6月施行)

# こどもの安全安心は、大人の責任です



北茨城市精華小学校 2年 稲川 繪華(当時)

## 地域安全マップ(例)のイラスト



誰でも入りやすい場所、見えにくい場所は、犯罪が起きやすい**危険な場所**と言えます。助けを求め駆け込むことのできる110番の家やガソリンスタンドなどのお店を確認しましょう。



防犯情報満載!  
いばらきポリスに  
登録しよう!  
安全安心なくらし▶



## 四輪車同乗中の交通事故防止

小学生の交通事故の半数以上が、車に同乗しているときに起きています。シートベルト、チャイルドシートの着用によって被害を大きく軽減することができます。後部座席も含め、全ての座席でのシートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底しましょう。

※シートベルトを正しく着用できるまでは、こどもの体格に合わせ、学童用チャイルドシート(ジュニアシート)を使用しましょう。

## 親子で実践 ワン・ツー・スリー

### 体格に合わせ、正しい姿勢で使用

- ①令和7年中の県内の四輪車乗車中の死者数39人中14人(35.9%)がシートベルト非着用です。このうちの10人(71.4%)は、シートベルトをしていれば、助かった可能性があります。
- ②急ブレーキをかけたときや衝突したとき、シートベルトをしていないと、フロントガラス等にぶつかったり、ガラスを突き破って車外放出につながったりします。
- ③**後部座席も含め、全席シートベルトを着用させる必要があります。(体の小さいお子さまには、体格に合わせたジュニアシートを使用させましょう。)**



詳しくはコチラ▲

## マップを活用して安全安心

こども自身が、声掛けや連れ去りなどの事件や交通事故から自分を守るために、危険を見つける目を養い、正しい判断力を身に付けることが大切です。

## 親子で実践 ワン・ツー・スリー

- ①お子さまと一緒に、**家のまわりや通学路を実際に歩きましょう。**
- ②助けを求め駆け込める家  
(110番の家、ガソリンスタンド、お店など)  
交通事故の危険性のある場所  
(交差点や歩道のない狭い道路など)  
危険な場所(川や池、沼、空き地など)  
を確認しましょう。
- ③**お子さまの安全安心マップを作ってみましょう**

マップ  
作りは  
コチラ



## しっかりもって こうつうあんぜん!

### 《どうろをあるくときのやくそく》

- 1 とびだしません。
- 2 おうだんするときは、みぎひだりをよくみてからわたります。
- 3 じどうしゃのすぐまえやうしろは、わたりません。
- 4 あおしんごうでも、みぎひだりをよくみてからわたります。



## ぼうはんにも きをつけて!

### 《しらないひとからこえをかけられたときは…》

- い** **か** (ついて)いかない  
**の** (くるまに)のらない  
**お** おおごえでさけぶ  
**す** すぐにげる  
**し** しらせる



**たすけて!**

お子さまと話し合い、交通安全や防犯の約束事を決めて実践するようにしましょう。

さんのおやくそく!!

(例) どうろをわたるときは、みぎひだりをよくみます。



# 「交通安全間違い探し」の答えは こちらです

ボールを追いかけて、道路に飛び出しています。

信号無視をしています。

親子でチャレンジ  
交通安全  
間違い探し  
全部で5つあるよ

交通ルールを守っていないのは、だれ？

「ストップくん」  
茨城県交通安全  
マスコットキャラクター

道路で遊んでいます。

交通ルールはみんなを守りましょう

自転車に乗りながら、スマートフォンを見ています。ヘルメットも被っていません(努力義務)。

横断歩道を渡っていません。

